

## 編集にあたって

日清製粉グループでは、ウェブサイト「CSRの窓」と「社会・環境レポート」(本冊子)の2つの媒体を通じて、ステークホルダーの皆様当社グループの社会的責任に対する姿勢や取り組みをお伝えしています。

「CSRの窓」はCSRに関する取り組みの全体を紹介し、本冊子では当社グループが重要と考える課題に対する具体的な取り組みを中心に、わかりやすさに配慮して紹介しています。

なお、製作によって発生したCO<sub>2</sub>は国内クレジットによりオフセット(相殺)され、地球温暖化防止と東日本大震災復興支援に役立っています。

CSR活動についての詳細な情報は、当社ウェブサイト「CSRの窓」をご覧ください。

<http://www.nisshin.com/csr/>

### 参考にしたガイドライン

GRI「サステナビリティ レポーティング ガイドライン」第4版

環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)

ISO26000「社会的責任に関する手引」

### 報告範囲

#### 【対象期間】

2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)の事象について報告しています。

#### 【対象組織】

原則として(株)日清製粉グループ本社および連結子会社・持分法適用関連会社合計58社(2016年3月末現在)を対象にしています。グループ全体の情報を十分に把握できていない事象については、報告の都度、対象組織を明示しています。なお環境報告の対象範囲は、(株)日清製粉グループ本社および連結子会社合計47社となっています。

### 発行日について

2016年8月

## 日清製粉グループ 社会・環境レポート2016

発行者 株式会社日清製粉グループ本社

東京都千代田区神田錦町一丁目25番地

問い合わせ先 株式会社日清製粉グループ本社 技術本部 環境管理室

TEL.03-5282-6570 FAX.03-5282-6155

ホームページ <http://www.nisshin.com/>



この冊子に使用している用紙の売り上げの一部は、生物多様性を保全する活動に寄付されます。



石油系溶剤を植物油系成分に置き換えた印刷インキを使用しています。



印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。



この冊子は色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られていると、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証されています。



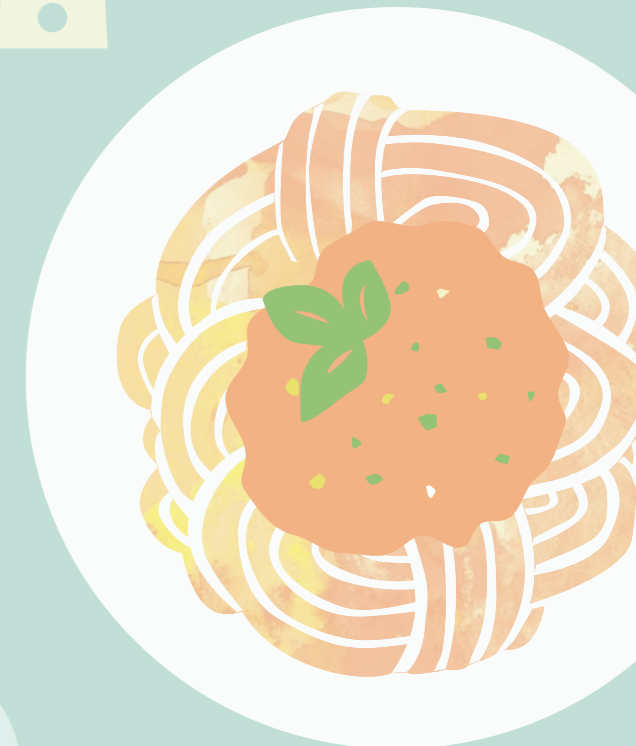
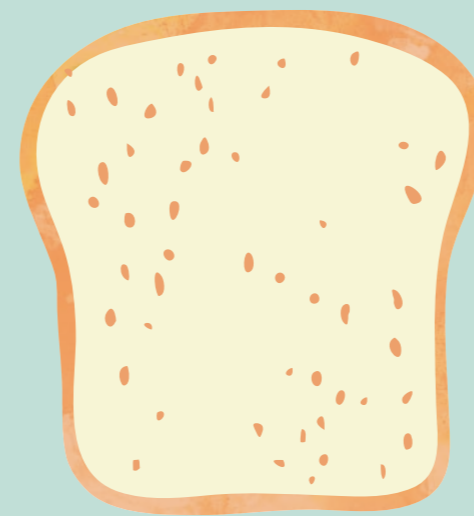
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



印刷サービスのグリーン購入に取り組んでいます。

# 結ぶ心、 つなげる未来

日清製粉グループ  
社会・環境レポート2016



## 日清製粉グループの経営理念

### 企業理念

日清製粉グループは「信を万事の本と為す」と「時代への適合」を社是とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」ことを企業理念として、生活産業をグローバルに展開してゆきます。

### 日清製粉グループの企業行動規範・社員行動指針

1. 健全な事業活動と持続的な発展
2. 安心・安全で高品質な製品・サービスの開発と提供
3. 人間性の尊重
4. 社会規範の遵守と公正な企業活動の推進
5. 適切な広報活動の推進
6. 環境保全の推進
7. 社会貢献活動の推進
8. 現地に根ざした海外事業の推進
9. 本規範及び指針の実現に向けての経営者の役割と責任

## 社長メッセージ

新経営計画を着実に推進するとともに、環境保全に関する中期目標の達成を目指します



### 企業の社会的責任への取り組み

当社グループは、従前より社会にとって真に必要な企業グループであり続けるべく、社会の要請に応えるCSR活動の推進を経営の最重要課題の一つと位置付け、企業の社会的責任を果たしてきております。

環境保全につきましては、「日清製粉グループ環境基本方針」に基づき、環境負荷の低減に積極的に取り組んでおり、省エネルギー、資源の有効利用については、新たに中期目標【CO<sub>2</sub>排出量:2030年度までに2013年度比26%削減、資源の有効利用:2020年度までに全ての事業場でゼロエミッション達成】を策定し、目標達成に向けた活動を推進しております。

昨年度は日清製粉 福岡工場(2014年稼働)と、歴史的な企業文化施設である「製粉ミュージアム」(2012年開館)にもISO14001の一括認証の範囲を拡大し、更なる環境管理の強化に努めております。

また、当社グループは、震災被災地の支援、「製粉ミュージアム」による地域観光資源や教育資産としての地域貢献活動を行うとともに、公益財団法人食生活研究会を通じて、食料及び食生活に関する研究者や研究機関への助成を行うなど、健康で豊かな食生活づくりに貢献しております。

当社グループは、今後も社会の一員として広く社会貢献活動に継続的に取り組んでまいります。

### 新経営計画「NNI-120 II」の着実な推進

当社グループは、現在2020年度を最終年度とする新経営計画「NNI-120 II」の取り組みを進めております。新経営計画ではコア事業の収益基盤の再構築に注力すると同時に、買収事業を含めた自立的成長と新規戦略投資等の実行により、海外、国内ともに着実な成果を挙げております。

海外では、米国で製粉4工場買収後のPMI(M&A後の統合プロセス)を推進するとともに、2017年秋の稼働予定で、カナダの製粉工場の生産能力増強工事を進め、北米における一層の事業展開を図っております。また、トルコのパスタ工場が稼働を開始するなど、海外事業の拡大が順調に進捗しております。

国内では、製粉知多工場の新ラインを昨年5月に本格稼働させ、臨海工場への生産集約が概ね完了し、コスト競争力をさらに強化しました。本年1月には、成長分野と位置付ける中食・惣菜事業の強化のため、(株)ジョイアス・フーズを新たに子会社化しました。これにより、惣菜・弁当・サンドイッチ等のラインナップに調理麺が加わり、全てのカテゴリーを供給できる体制が整いました。また、神戸の冷凍食品工場を昨年5月に稼働させ、冷凍パスタ事業の拡大を図っております。

当社グループは、新経営計画「NNI-120 II」の着実な推進により成長を続けることで企業価値の向上を図るとともに、法令順守、食品安全、環境保全等の社会的責任を果たし、これからもお客様を始めとしたステークホルダーの皆様から、積極的に支持される企業グループであり続けることを目指してまいります。



株式会社日清製粉グループ本社 代表取締役  
取締役社長

## 大枝宏之

### 新経営計画「NNI-120 II」基本戦略

1. 当社グループの成長に向けて、事業の選択と集中を進め**事業ポートフォリオの最適化**を実行し、重点分野に経営資源を集中的に投入  
・コア事業(製粉、加工食品)の**安定した収益基盤の再構築**  
・成長分野の事業を積極的に伸ばす  
・収益性・成長性が見込めなくなった事業は速やかに再編
2. 買収した事業を含めた既存事業の**自立的な成長**
3. **新規戦略投資(M&A、設備投資)**をスピード感を持って積極的に実行
4. **コスト競争力の強化と安全・安心な製品の供給の両立**
5. 将来の成長を見据えた**核となる人材の確保・育成**

## HIGHLIGHT

### 〈国内外における最適な生産体制の構築〉



ロジャーズ・フーズ Ltd.(カナダ)チリワック工場の生産能力増強



トルコ日清製粉 A.S.(トルコ)パスタ工場(2015年5月稼働)



日清製粉知多工場新ラインの増設(2015年5月稼働)



マ・マーカカロニ神戸冷凍食品新工場(2015年5月稼働)

# グローバルに展開する 日清製粉グループ



国内小麦粉市場において、パン・麺・菓子用など幅広いラインナップにより約4割の小麦粉を供給しています。さまざまなお客様の商品コンセプトに基づいた小麦粉の提案や新しい食文化の創造にも取り組んでいます。また、海外展開にも積極的に取り組んでおり、アメリカ、カナダ、タイ、ニュージーランドにおいて小麦粉の製造・販売を行っています。



**加工食品事業**  
ミックス粉やパスタ・パスタソース、乾麺などの小麦粉二次加工品を中心に、家庭用・業務用それぞれの市場において、「常温」「冷凍」の2つの温度帯の製品を販売しています。



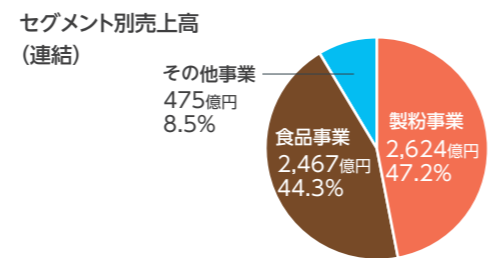
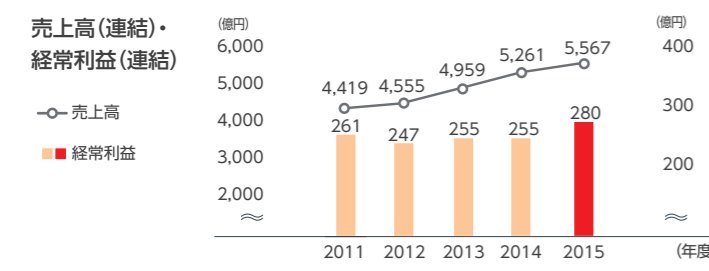
**中食・惣菜事業**  
和のおかずやサラダといった惣菜を製造し、パック詰めにした商品を販売。主に量販店の惣菜売り場にて季節の味をお届けしています。



**酵母・バイオ事業**  
製パン・製菓企業をはじめ中食・外食産業など幅広いお客様に、イースト、総菜、マヨネーズなどの食品素材を開発し提供しています。また、独自のバイオテクノロジーを用い、診断薬原料や研究用試薬を生産・販売しています。それに加え、医薬品の研究開発支援サービスなども提供しています。

会社概要  
2016年  
3月31日現在

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 社名       | 株式会社日清製粉グループ本社     |
| 所在地      | 東京都千代田区神田錦町一丁目25番地 |
| 創業       | 1900年(明治33年)10月    |
| 資本金      | 17,117百万円          |
| 発行済株式の総数 | 304,357,891株       |



従業員の状況 (連結)\*

| 事業     | 従業員数 (人)      |
|--------|---------------|
| 製粉事業   | 1,550 [114]   |
| 食品事業   | 3,745 [1,949] |
| その他事業  | 776 [366]     |
| 全社(共通) | 369 [72]      |
| 合計     | 6,440 [2,501] |

\*従業員数は就業人員であり、臨時従業員は[ ]内に年間の平均人員を外数で記載しています。

持ち株会社である(株)日清製粉グループ本社を中心に、116年の歴史を持つ「製粉事業」と、製粉事業を通じて培った技術を起点に「加工食品」「中食・惣菜」「酵母・バイオ」「健康食品」「ペットフード」「エンジニアリング」「メッシュクロス」の分野で事業戦略を展開しています。当社グループの創業120年目となる2020年度を最終年度とする6年間の新経営計画「NNI-120 II」を新たに策定し、2015年度から取り組みをスタートしています。事業環境の変化に臨機に適合し、当社グループの持続的成長を目指します。



**健康食品事業**  
お客様のニーズを捉えた安全・安心な栄養補助食品、機能性表示食品、健康食品のほか、固有技術を活かした高品質な医薬品原薬、医薬品製剤事業を展開しています。



**ペットフード事業**  
大切な家族の一員であるペットには、すこやかに暮らし、長生きしてもらいたい、というペットオーナーの願いに応えるため、安心かつ高品質なペットフードの研究・開発から製造、販売、そしてアフターフォローまで、ペットライフを総合的にサポートしています。



**エンジニアリング事業**  
食品・医薬品・化成品などの製造設備から工場建設にいたるまでの広範囲な「エンジニアリング事業」のほか、世界レベルの高度な粉体加工技術を用い、「機器製作販売事業」「粉粒体加工事業」を展開しています。



**メッシュクロス事業**  
製粉用ふるい網の技術から深化したメッシュテクノロジーは、スクリーン印刷用資材、フィルター、防虫網として自動車、住宅、通信、医療などさまざまな産業で活用されています。近年ではナノテクノロジーとの融合による機能性メッシュの開発など、暮らしに「健康」「快適」「安全」をお届けする新たな可能性に取り組んでいます。

## グループ会社一覧

- …連結子会社 ○…持分法適用会社 (2016年3月31日現在)
- 製粉事業**
    - 日清製粉株式会社
      - フレッシュ・フード・サービス株式会社
      - ヤマジヨウ商事株式会社
      - ミラー・ミリング・カンパニー LLC (アメリカ)
      - チャンピオン製粉 Ltd. (ニュージーランド)
      - ロジャーズ・フーズ Ltd. (カナダ)
      - 日清STC製粉 Co., Ltd. (タイ)
      - NSTCTレーディング Co., Ltd. (タイ)
      - 石川株式会社
    - タイ日清テクノミック Co., Ltd. (タイ)
    - 新日清製粉食品(青島)有限公司(中国)
    - PT. インドネシア日清テクノミック(インドネシア)
    - メダリオン・フーズ Inc. (アメリカ)
    - タイ日清製粉 Co., Ltd. (タイ)
    - ベトナム日清製粉 Co., Ltd. (ベトナム)
    - トルコ日清製粉 A. S. (トルコ)
  - 健康食品事業**
    - 株式会社ジョイアス・フーズ
    - トオカツフーズ株式会社
  - 酵母・バイオ事業**
    - オリエンタル酵母工業株式会社
      - 株式会社バニーデリカ
      - 株式会社OYCフーズネット
      - 株式会社日本バイオリサーチセンター
      - 北山ラベス株式会社
      - 株式会社オリエンタルバイオサービス
      - 株式会社ケービーティーオリエンタル
      - OYC アメリカ Inc. (アメリカ)
    - OYC ヨーロッパ B.V. (オランダ)
    - OY インド Pvt.Ltd. (インド)
  - 食品事業**
    - 加工食品事業**
      - 日清フーズ株式会社
        - 日清製粉プレミックス株式会社
        - マ・マ・マカロニ株式会社
        - イニシオフーズ株式会社
        - 大山ハム株式会社
    - ペットフード事業**
      - 日清ペットフード株式会社
    - エンジニアリング事業**
      - 日清エンジニアリング株式会社
    - メッシュクロス事業**
      - 株式会社NBCメッシュテック
        - 株式会社NBCメタルメッシュ
        - PT.NBC インドネシア(インドネシア)
        - ダイナメッシュ Inc. (アメリカ)
        - 恩美絲(上海)紗網貿易有限公司(中国)
  - その他**
    - 日清丸紅飼料株式会社
    - 日本ロジテム株式会社
    - 日清サイロ株式会社
    - 阪神サイロ株式会社
    - 千葉共同サイロ株式会社
    - 信和開発株式会社
  - 持株会社**
    - 株式会社日清製粉グループ本社
      - 日清アソシエイツ株式会社
      - 錦業(煙台)食品研究開発有限公司(中国)
  - 他 連結子会社5社  
持分法適用会社4社

## 消費者の皆様と

### セミナー・懇談会を通じたコミュニケーション

小麦の需給状況や小麦粉の製造工程、食品安全についての講義や実験など、小麦と小麦粉をテーマにした出張セミナーを開催しています。また、消費者団体との懇談会を実施し、商品を使用する際に気を付けていただきたいことをお伝えするとともに、日頃の疑問にお答えする活動をしています。



食品の期限と保存方法に関する講義の様子  
試食で小麦粉の違いを確認  
(日清製粉鶴見工場での懇談会)

### 多様化する消費者の 皆様の声に応えるために

毎年、全国から事業会社の消費者対応担当が集まる会議を開催しています。社外より講師を迎えた講義や、当社グループの消費者の皆様とのつながりのあるべき姿を話し合うなど、担当者のレベル向上を目指しています。



グループワークの様子

### 消費者の皆様の生活への 影響を最小限にとどめる

国民の主要食糧である小麦粉等の安定供給を確保するため、万一の災害発生時に人的被害や工場等の設備に被害が生じて、消費者の皆様への生活への影響を最小限にとどめるように、管理体制の確立、設備の改修など食糧供給を確保する対策を実施しています。



大規模地震や津波を想定した設備を配備した専用ふ頭  
(日清製粉鶴見工場)

### 「消費者視点での品質保証体制」に グループ全体で取り組む

当社グループは消費者の皆様においしく、安心・安全な食品を提供することを、何よりも大切に考えています。製品開発、原料調達から製造、物流までのすべての工程で、食品防御(フードディフェンス)を含めた安全性の確保に努め、従業員一人ひとりが「消費者視点での品質保証」の実践を目指し、品質保証体制の維持・強化に取り組んでいます。

〈厳重な入退室管理〉



指紋認証



静電認証

## お客様・取引先と

### 安全・安心かつ高品質の製品や サービスのために

信頼をベースに安全・安心かつ高品質の製品やサービスを提供するとともに、きめ細かいお客様とのコミュニケーションに努めております。また、定期的な勉強会やセミナーの開催を通じて、技術向上や新製品開発のヒントをご提案しています。



セミナー会場で作られたサンプル

ミラー・ミリング(米国)では工場見学会や小麦畑で原料となる小麦の生育状況を確認いただくクoppツアー(小麦畑の視察会)の開催を通じて、製品をお使いいただく方々とのコミュニケーションに努めています。



クoppツアーの様子  
ミラー・ミリングカンパニーLLC  
プレス工場

## 株主の皆様と

### 見学会の開催

(株)日清製粉グループ本社では個人株主様を対象とした見学会を開催しています。2015年度は、日清製粉鶴見工場と製粉ミュージアムで見学会を開催し、当社グループの歴史と伝統、製品や製造工程へのご理解を深めていただきました。



工場見学会の様子

## 社員と

### 働きやすい職場づくりと人材育成

社員一人ひとりの活躍を推進するため、ライフステージにあわせた柔軟な制度の充実や、研修制度などの能力開発機会の提供など、働きがいのある職場環境づくりに取り組んでいます。

社内外の講師による集合研修の他、技術研修所では、多様な職場や業務に対する実践的なプログラムを提供しています。



社員研修の様子



社員の安全に関する研修の様子

## 社会

# 健康で豊かな生活づくりに 貢献しています

### 社会への取り組み

## 環境

### 環境への取り組み

### 日清製粉グループ 中期環境目標の策定

地球温暖化対策と資源の有効利用について、日清製粉グループは、2030年までの中期目標を策定しました。将来の事業の持続的成長を見据えながら、省エネルギー施策や資源の有効利用に積極的に努め、環境負荷低減施策をグループ全体で推進してまいります。

#### 日清製粉グループ中期環境目標

##### 地球温暖化防止のための CO<sub>2</sub> 排出量の削減

- 2030年度までに2013年度比でCO<sub>2</sub>総排出量26%削減(国内)
- 2030年度までに2013年度比で原単位7.8%削減(海外)

##### 循環型社会形成のための資源の有効利用

- グループ全体でゼロエミッションを維持する(国内)
- 2020年度までに事業場単位(国内)でもゼロエミッションの達成を目指す

## 2015年度環境実績

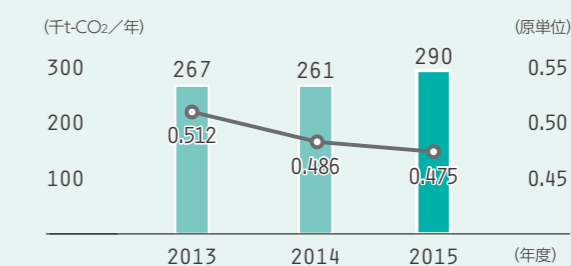
### 地球温暖化対策

省エネ設備の導入や徹底した生産効率の改善により、グループ全体でエネルギー使用量の削減に努めましたが、海外子会社の生産量増加や、米国やベトナムの新しい製造拠点を新たに算入した影響により、グループ全体のCO<sub>2</sub>排出量は増加しました。

一方で省エネ活動の推進により、売上高原単位は減少の傾向にあり、引き続き中期目標の達成を目指します。

#### グループのCO<sub>2</sub>排出量(輸配送は除く)

■ グループの排出量 ● 売上高原単位(国内)

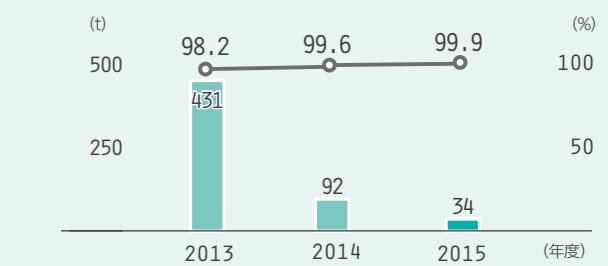


### 資源の有効利用

受給バランスにあわせた生産管理や、商品の保管・出荷方法の改善等により、排出物の発生を抑制しています。また、発生した排出物の適切な管理に努め、肥料や飼料の原料にするなど、リサイクルや有効利用に取り組んだ結果、グループ全体ではゼロエミッションを達成しています。これからも資源の有効利用に努め、さらに高い目標実現を目指します。

#### グループの廃棄物最終処分量

■ グループの最終処分量 ● 最終処分量削減率(対2000年度)



※海外子会社は除く

### 製品の環境配慮

日清製粉グループは国民運動「COOL CHOICE(=賢い選択)」に参加しています。

省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、また、快適な暮らしにつながるあらゆる「賢い選択」をしていこうという主旨に賛同し、ご家庭の調理段階の省エネルギーや容器包装の廃棄を少なくすることに役立つライフスタイルと環境配慮型製品の紹介を推進しています。



環境配慮製品の展示の様子



「COOL CHOICE」のロゴマーク

### 自然の恵みを将来につなげるために

北海道にある霧多布湿原は、多様な生物を育み、水鳥の生息地としても非常に重要な湿地としてラムサール条約に登録されています。(株)日清製粉グループ本社は、認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストの保全活動を支援しています。



霧多布湿原(北海道)



新ラインのロール機

#### 日清製粉グループ全体で 高い水準で省エネルギーを実現

経済産業省資源エネルギー庁から公表されている企業の省エネ達成水準の格付けでは、省エネ法<sup>※</sup>の対象となる当社グループ15会社のうち9社が最も省エネが優良な企業として「Sクラス」に格付けされています。

2015年5月に稼働した日清製粉知多工場の新ラインは、長年培ってきた製粉技術を結集した最新鋭の製造ラインです。高効率モーターの導入や機械設備をコンパクトに配置することで小麦粉の搬送距離を短縮し、従来よりも少ないエネルギーにて安定的・効率的な小麦粉の製造を実現しています。

※省エネ法:エネルギーの使用の合理化等に関する法律



製粉ミュージアム



日清製粉福岡工場

### グループ全体での 環境マネジメントシステムの運用

日清製粉グループは国際規格ISO14001の環境マネジメントシステムを運用しており、製造拠点だけでなく、オフィス、営業、研究所を含め、グループ全体で一括認証を受けています。2015年10月に日清製粉福岡工場と群馬県館林市にある歴史的企業文化施設「製粉ミュージアム」に認証範囲を拡大いたしました。認証取得に際しては、当社グループの環境マネジメントシステムが効果的に運用され、適切な環境管理をしていることが審査機関により確認されました。

# 2015年度の主な活動のご紹介

日清製粉グループは、よき企業市民としての責任を自覚し、地域社会のみならず、広く社会に対して積極的に貢献活動を行い、豊かな社会の実現に寄与します。

## 災害復興支援

### 福島障がい者協働プロジェクトへの協力 (福島県郡山市)

「魔法のお菓子・ぼるぼろん」は福島の13の福祉事業所等が力を合わせて作るお菓子です。当社グループは技術指導や社内販売により応援しています。お菓子がより多くの笑顔につながることを願い、2015年8月に開所した新しい製造事業所に当社から業務用ミキサーを贈呈しました。



社員による焼き菓子デモンストレーション



「魔法のお菓子・ぼるぼろん」

### 東北の子どもたちに絵本を

一般社団法人地球の楽好が運行するえほんバス(移動図書館)の活動を支援しました。

当社グループの社員・役員から、広く絵本を募り、2015年度は全国から646冊の絵本が集まりました。えほんバスを通じて被災地の保育所や放課後児童クラブの子供たちに届けられました。



寄付された絵本

## 研究活動を支援

### 食生活の向上と改善を目指して

(株)日清製粉グループ本社が支援している公益財団法人食生活研究会は、食料及び食生活に関する基礎的研究に対する研究費の助成や講演会の開催等を行っています。

また、日本の大学や研究機関等の留学生への支援事業を通じて、母国と日本の「架け橋」となる人材が育つことを期待しています。



奨学金支給の決定書授与式

## スポーツを応援

### バレーボールを通じた未来を応援



2015年10月に開幕した6人制インドアバレーボールのトップリーグ「2015/16V・プレミアリーグ女子大会」に協賛しました。また、開催地の子どもたちを対象としたバレーボール教室「V・明日夢(みらい)プロジェクト」への協賛を通じて、子どもたちを応援し、笑顔をはぐくむお手伝いをしています。



会場の写真  
JVL承認 VLAP-2016-001

### 世界初たこやき食べ放題の マラソン大会を応援

大阪府吹田市の万博記念競技場・万博記念公園内で開催された「ABC万博たこやきマラソン」に大会特別サポーターとして協賛しました。参加者は春の万博記念公園を楽しく走り、ゴールした後は、関西各地の人気たこやき店27店が立ち並ぶブースにて、「たこやき食べ放題」をお楽しみいただきました。



大会のメインビジュアル

## 緊急支援物資の提供

フィジー共和国では2016年2月に南半球史上最大のサイクロン「ウィンストン」の直撃を受け、甚大な被害に見舞われました。ロジャーズ・フーズ(カナダ)は小麦粉2.5トンを緊急支援物資として無償提供するとともに、500家族が必要とする2週間分の食料の詰め合わせを支援団体を通じて寄付しました。



支援物資となる大袋入り小麦粉

## 創作機会の支援

### スクリーン印刷の 技術向上と創作機会の 提供を目指し

#### — 第5回シルクスクリーン

#### 国際版画ビエンナーレ展 —

NBCメッシュテックはスクリーン印刷の普及をはじめ、印刷技法・表現の向上、作家への創作機会の提供を目的に、シルクスクリーン版画の公募展を開催しています。第5回目を迎えた公募には、世界31カ国から241点もの表現豊かな作品の応募があり、優秀作品は美術家連盟画廊(東京・銀座)にて一般公開されました。



作品展の様子

## 地域社会を応援

### 盲導犬育成支援 「ワンステップキャンペーン」

日清ペットフードはペットフード商品を販売いただいている店舗と共同で、キャンペーン期間の売り上げの一部を認定NPO法人全国盲導犬施設連合会へ寄付する活動をしています。寄付金は、全国の盲導犬の育成・訓練・普及・視覚障がい者の方々の社会参加促進に役立てられます。

### 神戸スイーツ・ コンソーシアムへの協賛

社会福祉法人プロップ・ステーションが、「チャレンジの菓子職人を育てよう」というミッションを掲げ推進しているプロジェクトに、日清製粉は協賛しています。2015年度は「チャレンジの就労支援」をテーマに、作業所で実際に販売できる製品を開発し、講習と販売までの支援を行いました。

※チャレンジ…挑戦する使命を与えられた人。米国などで障がい者に対する新しい呼称として用いられる。



講習に向けて開発したプレッツェル

## 学ぶ・楽しむ・つくるを応援

### 食をつくる楽しさ・大切さを伝える

身近な食材「小麦粉」に親しんでいただくため、小麦粉を使った料理の講習会を開催しています。また、学校の授業や地域の催しにむけて講師を派遣し、小麦や小麦粉、食品を題材にした食育や環境教育にかかわる出張授業を実施しています。



講習会で作られた動物パン



子ども食育講座の様子

### 地域の子どもたちの教育環境の改善支援

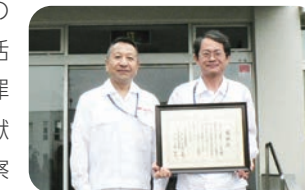
タイでは、古くから寺院で読み書きを教えていたため、その名残として今でも多くの学校が寺院の境内や近くにありま。日清STC製粉(タイ)は、工場に隣接する小学校兼寺院の視聴覚室の修理や空調の設置、また校舎の拡張工事への支援など、教育環境の改善を通じて、地域の子どもたちの成長を応援しています。



空調が設置された教室

### 明るい街づくりに貢献

埼玉県ふじみ野市にある日清製粉グループの上福岡研究所では、地域で組織する防犯連絡協議会を通じて、企業内における防犯意識の啓発とともに、地域の犯罪の予防、青少年の健全育成を目指す活動に積極的に協力しています。犯罪のない明るい街づくりの推進に貢献したことに対し、埼玉県東入間警察署から感謝状をいただきました。



授与された感謝状

### 地域社会のプラスの力を目指し

OYCアメリカ(米国)は治療のために家から離れて入院している子どもと付き添われるご家族のための滞在施設「ドナルド・マクドナルドハウス(サンディエゴ)」の支援活動に参加しました。地域社会のプラスの力になることを願い、ランチの配膳やイベント後の施設の清掃などに社員たちが一丸となって取り組みました。



配膳をお手伝いする社員ボランティア